

## 令和5年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

## 基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

### 1. 本部・総務部

数年度に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大に多大な影響を受ける中、本部・総務部は、役職員、関係者、顧客の健康・安全衛生を第一に、さまざまな取り組みに努めてきた。令和5年度は、昨年度に引き続き各種業務改善、効率化に努め、各事業所を統括・支援するとともに、法人全体の円滑な事業活動を推進する。

### 2. 徳川美術館

令和4年、コロナ禍は、年初より年末にかけ、第6波から第8波へと断続的に継続し、感染者数が増大した一方で、経済・社会全般では、ワクチンの普及もあり、徐々にウィズ・コロナの下での活動に向かう動きが顕著となった。当館の運営における入館者数の実績も、平常年度比70%減となった前々年度、50%減となった前年度の状況から緩やかな回復傾向が見られ、令和4年度は、年度当初に想定した13万人強を上回り、概ね15万人を超える見通しにある。令和5年度については、依然として、今後のコロナ関連の動向（団体やインバウンド来館者の回復を含む）や、ロシアのウクライナ侵攻に関連するエネルギー価格の動向、為替の動向、物価・賃上げの動向等々の不確定要素はありつつも、経済全般の回復傾向は続く想定し、策定した展覧会計画の下、見込みを18万人と設定した。本年度は、春の「大蒔絵展」、夏の「徳川家康展」、秋の「人間讃歌展」といった大型展に加え、年末の「徳川林政史研究所開設100周年記念展」もあって、多彩な展覧会開催を策定しており、また、NHK大河ドラマ「どうする家康」関連として、第1展示室において、約1年に亘って、特集展示「徳川家康」を行うこととしている。第4年目となる文化観光拠点計画については、引き続き、予算対応可能な範囲で、各般の魅力向上策（展示室LED照明調光器の最新化、ホームページ等使用画像の魅力向上、第6展示室における源氏物語絵巻紹介コーナーやビデオブーススペース改修に向けた準備など）を実施していくこととしている。加えて、物販事業の一層の拡大にも努める等、引き続き、中・長期に亘る文化財の保全を安定的に可能とするため、多面的方策を講じていく方針である。

### 3. 徳川林政史研究所

令和5年度は、当研究所開設100周年の節目の年に当たり、これまで進めてきた、林政史・幕政史・藩政史研究の成果として、11月から12月まで、姉妹機関の徳川美術館において、特別展「将軍と尾張徳川家一政と儀礼」、企画展「木曾山と尾張藩」を開催する。また、引き続き本年度も、所蔵史料の整理・研究・公開活動を実施する。尾張藩研究に関しては、初期当主の事蹟をまとめた、「事蹟録」の原稿化作業を継続するとともに、尾張家が将軍家に献上した贈答品を書き上げた「礼物軌式」を、一般書店から史料纂集として刊行する。林政史研究については、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットと、内木家文書の史料集を編集・刊行する。教育・普及活動においては、これまでと同様に、徳川美術館と連携した公開講座を予定しているが、他機関からの出講依頼にも積極的に対応していく。さらに、若手研究者の育成の一環として、本年度より、関係会社八雲事業所（北海道二世郡八雲町）における所蔵史料撮影など、史料保存活動の充実を図る予定である。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

## I.公益目的事業

### [ 公益事業 1 ] 美術館の運営事業（徳川美術館）

#### 1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

##### (1) 展示・公開

###### ① 名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品の名品を中心に、第1展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第2展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第3展示室では、香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第4展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々、名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第5展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に4回の大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。第6展示室では、「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる解説を行う。特集コーナーとして、第1展示室では、「名刀セレクション」、令和5年1月4日から12月15日まで特集展示「徳川家康」、第5展示室では、特集展示「国宝 初音の調度」として、順次数点ずつシリーズで紹介し、3月28日から5月28日まで、修理完了記念特別公開「国宝 初音の調度」を開催する。

###### ② 特別展（第7～9展示室）

###### ア. 特別展「大蒔絵展—漆と金の千年物語」

4月15日～5月28日

朝日新聞社共催

平安時代の蒔絵の名品をはじめ、鎌倉時代の手箱、江戸時代の蒔絵を代表する、「国宝 初音蒔絵調度」や琳派様式の蒔絵、江戸時代から近代にかけて活躍した名工による作品などに加えて、現代の人間国宝の作品にいたるまで、選りすぐりの蒔絵を紹介する（MOA美術館・三井記念美術館を含む巡回展）。

###### イ. 特別展「よそおいの美学」

6月3日～7月17日

江戸時代の大名や夫人たちが、状況に応じて、立派に、あるいは美麗によそおうために誂えられた、衣服や装身具、刀剣・刀装具、また、美を具現する化粧に至るまで、武家の美学を紹介する。

###### ウ. 夏季特別展「徳川家康—天下人への歩み—」

7月23日～9月18日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・読売新聞社共催

徳川家康の波乱の生涯を歴史史料などから辿るとともに、駿府御分物（家康の遺産）を中心に、その人となり、軍事・政治・学問・芸能など、様々な側面に焦点を当て、家康像を紐解く。

###### エ. 秋季特別展「人間讃歌—江戸の風俗画—」

9月24日～11月5日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

戦国の乱世が終わり、太平の世が到来した江戸時代、現世を謳歌する人々の姿を主題とした風俗画が数多く登場した。多様な風俗画の名品の数々を展示し、その普遍的かつ魅力あふれる世界を紹介する。

###### オ. 徳川林政史研究所開設100周年記念特別展「将軍と尾張徳川家—政と儀礼—」

11月11日～12月15日

中日新聞社・日本経済新聞社共催

徳川林政史研究所は、江戸時代の幕政史や尾張藩政史の研究を進めてきた。将軍家と尾張家の関係性の深さに着目しつつ、歴史史料を通して、江戸城や名古屋城における将軍・藩主の公務の実態を紹介する。

カ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月3日～4月3日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する、尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 企画展「能の世界―神・男・女・狂・鬼―」

4月15日～5月28日

600年の歴史を刻んだ舞台芸術である、能の演目の分類5種類「神・男・女・狂・鬼」をテーマに、能面・能装束を紹介する。

イ. 企画展「極める！江戸の鑑定」

6月3日～7月17日

江戸時代には、刀剣や書蹟・絵画など、分野ごとに、美術品の真贋や価値を評価する「鑑定」が行われていた。作品と折紙・極札・箱書といった鑑定書から、「鑑定」の様相に迫る。

ウ. 徳川林政史研究所開設100周年記念企画展「尾張藩と木曾山―徳川義親のまなざし―」

11月11日～12月15日

中日新聞社・日本経済新聞社共催

徳川美術館の初代館長、第19代当主、徳川義親が、尾張藩が管理・運営した木曾山の研究を志し、徳川林政史研究所を開設して、今年で100周年を迎える。義親の木曾山研究の歩みや、収集した数々の史料を紹介する。

エ. 企画展「うるわしの古筆」

1月4日～1月28日

毎日新聞社共催

古筆とは、狭義には、平安・鎌倉時代の貴族が認めた歌集などを指す。「重之集」、「名家集切」などの尾張徳川家伝来品や、近年寄贈を受けた「石山切」や「関戸本古今和歌集切」など、当館が所蔵する古筆の名品の数々を紹介する。

オ. 企画展「ひなを楽しむ―旧家のひな飾り―」

2月3日～4月3日

江戸時代から昭和に至るまでの町屋で飾られた、様々なお雛さまを展示し、大名家・尾張徳川家伝来の雛とは趣の異なる、素朴な中にも親しみを感じさせてくれる旧家の桃の節供を紹介する。

④ 特別展示

11月18日～26日

「国宝 源氏物語絵巻」竹河一・東屋二（第5展示室）

2月23日～3月3日

「千利休 泪の茶杓」（第2展示室）

⑤ 特別観覧

ア. 一定の条件の下、大学・研究機関等の研究目的による特別観覧に応ずる。

イ. 「徳川茶会」を10月8・9・14・15・22・28・29・11月3日（8日間）に開催を予定。

ウ. 「トクガワナイトミュージアム・プレミアム」を含む、ナイトタイムイベントの開催を予定。

エ. 旅行会社・団体・法人等の需要に応じ、夜間の貸切開館を実施する。

(2) 修理・保存・収集

以下の項目の修理・保存を予定している。収集作品については、寄贈の申し出などにより検討する。

「国宝 初音蒔絵調度文台・硯箱」

① 国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理

② （公財）住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理

## 2. 調査・研究

### (1) 学芸部における調査・研究

①館藏品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社藏品調査、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究、⑥尾張藩御用絵師の研究、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動について－田中訥言を中心に－、⑨武家女性の生活史の研究、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について、⑪近世狩野派の研究、⑫戦国合戦図の総合的研究※、⑬戦国軍記・合戦図の史料学的研究※、⑭近世初期絵画の研究、⑮茶道史の研究、⑯尾張徳川家の仏教絵画の研究、⑰高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究※、⑱刀剣に関する研究、⑲尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究、⑳刀装具に関する研究、㉑近世岩佐派の研究  
※ ⑫は、東京大学史料編纂所特定共同研究、⑬は、共立女子大学共同研究、⑰は、京都国立博物館共同研究として、文部科学省科学研究費の助成の下で実施予定。

### (2) 徳川林政史研究所との連携研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究
- ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

### (3) 収藏品データベースの構築

調書作成・入力、写真データ作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力、リスト・キャプションの作成、作品の写真撮影、作品情報のデータベース化など

### (4) 研究用図書類の整備

図書類の受入、整理および管理

### (5) 研究成果の公開・公刊

- ① 定期研究発表会  
7月（第82回）および2月（第83回）を予定。
- ② 図録、研究紀要等  
ア. 特別展図録等の作成・頒布  
・ 特別展「大蒔絵展－漆と金の千年物語」（巡回展図録）  
・ 夏季特別展「徳川家康－天下人への歩み－」（簡易図録）  
・ 秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」（図録）  
・ 企画展「うるわしの古筆」（簡易図録）  
イ. 英文ハンドアウト等の作成  
展覧会を紹介する英文ハンドアウトを、適宜作成・配布（QRコードによるWEB配布を含む）。  
ウ. 『金鯨叢書』第51輯（『研究紀要』第58号）の編集・刊行
- ③ 美術館だより「葵」第126号～129号の作成・配布

### (6) 大名道具収蔵館研究会

当館を幹事館の一つとし、研究会を実施。

## 3. 教育・普及

### (1) 記念講演会（無料）

- ・ 特別展「大蒔絵展－漆と金の千年物語」
- ・ 夏季特別展「徳川家康－天下人への歩み－」（計2回開催予定）
- ・ 秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」
- ・ 徳川林政史研究所開設100周年記念特別展「将軍と尾張徳川家－政と儀礼－」

### (2) 記念講座（有料）

- ・ 特別展「大蒔絵展－漆と金の千年物語」漆ワークショップ
- ・ 企画展「能の世界－神・男・女・狂・鬼－」能楽特別講座

- ・ 特別展「よそおいの美学」体験教室
- (3) 土曜講座
  - ・ 源氏物語絵巻と初音の調度—二つの国宝に見る日本の伝統美— (4月)
  - ・ 尾張徳川家における演能 (5月)
  - ・ 武家のよそおい—ルールと美学— (6月)
  - ・ 鑑定の諸相 (6月)
  - ・ 家康の遺産 (8月)
  - ・ 風俗画を読み解く (10月)
  - ・ 木曾林政史研究事始め—徳川義親のまなざし— (11月)
  - ・ 古筆鑑賞入門 (1月)
  - ・ 史料からひもとく尾張徳川家—その3—尾張徳川家の刀装具管理を考える— (2月)
  - ・ 岩佐又兵衛と大名家 (3月)
- (4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座 (土曜日、午後開講)  
6月・7月の間に合計5回、「徳川家康関係文書を読む」をテーマに、シリーズで講座を開講する。
- (5) 徳川林政史研究所による江戸学講座 (土曜日、午後開講)  
12月から1月の間に合計3回、研究所員を講師として実施する。
- (6) 博物館実習  
11月に若干名、一人当たり5日間実施する。
- (7) ボランティア向け展示説明会
- (8) 学芸員の見どころトーク  
各特別展・企画展において、学芸員が展覧会の見どころを紹介する。
- (9) 特別展・企画展関連企画  
年度を通じ、展覧会準備検討会で検討し、展覧会にあわせた関連企画を実施する。また、関連する知識・情報等をパネル展示する。
- (10) 組香体験 (個人向け)  
年度内に2~3回程度実施する。
- (11) 土曜子ども教室 (小中学校の児童・生徒向け教育普及活動)  
毎月テーマを決めて教室を開催する (なお、土曜日は、小・中・高校の児童・生徒は、観覧料無料)。
- (12) 夏休み子ども特別企画  
ギャラリー・クイズ、歴史教室ほかを実施、ガイドブックの作成予定 (8月)。
- (13) 徳川家康シールラリー  
年度を通じ、随時実施する。
- (14) 中学校・高校・大学の生徒・学生の職場体験受け入れ (インターンシップ)
- (15) 団体対応体験プログラム
- (16) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験を含めた来館プログラム
- (17) 古美術相談  
年度を通じ、随時対応する。
- (18) 見学会  
年度内に1回程度実施予定。
- (19) 出講・受嘱  
依頼にもとづき、大学・文化センター等への講師や外部組織の職務に、教育・文化継承・社会貢献・広報等の観点から検討し、出講・受嘱する。
- (20) 協賛事業 (外部事業)
  - ・ 第102回名古屋市文化史教室 (事業提携)  
夏休み子ども歴史教室を名古屋市と共催

- ・ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

#### 4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

##### (1) 賛助会会員向け優待

- ① 年間の無料入館
- ② 企画展・特別展内覧会の実施  
開催前日または初日に、賛助会員向け内覧会を開催（図録作成時は無料配布）。
- ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
- ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- ⑤ 懇親会開催
- ⑥ 見学会（国内の史跡・他館特別展等）への会員優待
- ⑦ 茶会特別観覧料金、ショップ商品等の割引

##### (2) 友の会会員向け優待

- ① 一般会員向け観覧料優待制度
- ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
- ③ 一般会員向けのショップ一部商品の割引
- ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引

##### (3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待

- ① 対象大学法人の学生（一部教職員を含む）の観覧料優待
- ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示

##### (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討

各カテゴリーの会員制度について、会員数の拡充のための方策を、多様な観点から更に検討する。

[ 公益事業 2 ] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- ① 名古屋城の構造と儀礼に関する研究
- ② 尾張藩幕末維新史の研究
- ③ 近世の地域社会と森林利用に関する研究
- ④ 近世山村における生活文化に関する研究
- ⑤ 近世木曾山林業地域における材木商の存在形態
- ⑥ 尾張藩領外の鷹場の研究－鷹場領主論の視点から－
- ⑦ 徳川斉朝正室淑姫の御守殿に関する研究

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する調査・研究
- ③ 展覧会事業への協力・史料出品
- ④ 教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯨叢書』第51輯（『研究紀要』第58号）の編集・刊行
- ③ 所蔵史料の編集・刊行（『史料纂集 礼物軌式』（八木書店））
- ④ 史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブス調査
  - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
  - イ. 金沢市立玉川図書館近世史料館
  - ウ. 岐阜県可児市木曾古文書館
  - エ. 長野県木曾・諏訪地域
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
  - ア. 犬山城白帝文庫
  - イ. 犬山市文化史料館
  - ウ. 八雲産業株式会社八雲事業所
- ③ 収集史料データの整理および史料所在情報の公開作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、名古屋城調査研究センター、犬山城白帝文庫、名古屋市博物館、徳川記念財団、国立公文書館・国文学研究資料館ほかの資料保存機関、大学・学会と連携・協力し調査・研究を実施する。

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

史料整理及び目録作成

徳川林政史研究所収集史料、信濃国諸地域史料、殿村文書ほか

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯨叢書』第51輯（『研究紀要』第58号）に掲載）

- ① 尾張徳川家文書目録（19）
- ② 石河家文書目録（16）



③ その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 所蔵史料データベースの構築

尾張徳川家文書、石河家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書ほか

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページ上検索システム構築）の検討

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真のデジタルデータ化の促進

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書 of 整理

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 「徳川林政史研究所公開講座」（豊島区、1回）

② 「徳川林政史研究所 古文書入門講座」（徳川美術館、全5回）

③ 「徳川林政史研究所 江戸学講座」（徳川美術館、全3回）

④ 史料調査と関連付けた講座・講演（中津川市加子母、1回）

(2) 展覧会

① 徳川美術館において、特別展・企画展を開催する

② 特別展・企画展に関わる図録・刊行物を作成する

(3) ホームページによる情報発信

① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及

② ホームページを利用した情報発信の促進

(4) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学

② 受嘱

外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による、①研究会の開催、②史料整理・目録作成作業、③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修、④その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加を通じ、若手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

(2) 史料出陳

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

(4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の実施

3月に実施予定。

## Ⅱ.収益事業

### [ 収益事業 1 ] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

#### 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸事業（全 6 棟）を継続する。

### [ 収益事業 2 ] ミュージアムショップ、施設貸出、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

#### 1. ミュージアムショップの運営

売上向上に向け、環境整備や商品拡充、SNS を活用した商品告知、オンラインショップ（海外展開含む）、小売・通信販売事業者等と連携したイベントなど、外部での販売強化および人材育成等を図る。

#### 2. 施設貸出

美術館施設（講堂・茶室等）を活用し、外部団体・法人等への貸出業務を行う。

#### 3. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る。

### Ⅲ.管理業務

#### [ 本部・総務部 ]

法人の円滑な事業推進、運営管理のため、徳川美術館、徳川林政史研究所の各事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

#### [ 徳川美術館 ]

##### 1. 活動支援基金

- (1) 活動支援基金に係る管理事務
- (2) 寄附金公募・獲得のための各種方策・活動の検討

##### 2. 補助金

- (1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務
- (2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務
- (3) 文化庁補助事業
  - ① 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業について、関係当局等と協議しつつ、第4年目の事業を実施する。
  - ② その他文化庁補助事業に参加する。

##### 3. 観覧料金

- (1) 入館料の改定  
一般 1,600 円・高大生 800 円・小中生 500 円（通常期・4月15日より）
- (2) 前売りペアチケットの導入  
夏季特別展「徳川家康－天下人への歩み－」、秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」の各展覧会を対象として、2,700 円（販売期間限定）のペアチケットを販売する。
- (3) オンラインチケットとして、前売券販売  
前売券価格（一般 200 円引、その他 100 円引）として、外部チケットサイト（美術館ホームページからリンク）にて販売。

##### 4. 広報

外部専門業者等と連携し、実施してきた、WEB 解析・来館者調査などのマーケティング結果に基づく広報戦略を検討し、誘客対象となる層への的確な広報を実行する。展覧会計画や教育普及プログラムと連携しつつ、WEB 施策等の新しい広報手段の活用も視野に入れ、積極的かつ効果的な広報活動を推進する。若年層向けの企画実施や館内収益性イベントのアピールを強化する。

##### 5. 営業

国内旅行、高校修学旅行、MICE 招致に注力した営業活動を強化する。

- (1) 個人向け旅行誘致や、個人向け需要獲得のための活動
  - ① （一社）愛知観光協会、（公財）名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス、商談会への参加。
  - ② WEB における情報発信や、当館の魅力を伝えるコンテンツを強化（YouTube 動画配信など）。
  - ③ 市内宿泊施設、タクシー会社と相互連携し、タビナカ（旅の途中での観光）需要の獲得。
- (2) 高校修学旅行誘致のための活動

- ① 国際社会におけるアイデンティティ教育を視野に、教育普及と連動した誘致のための活動を計画、実施する（体験プログラムの拡充）。
  - ② 地域内で連携可能な他施設（名古屋港水族館など）と調整した訪問営業活動を実施する。
- (3) 法人営業
- ① MICE 招致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等へ向けた営業活動を推進する。
  - ② 年間スケジュールや、集客が見込める展覧会の情報発信を継続する。
6. ボランティアの会運営
- (1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）を推進する。
  - (2) 能力（スキル）向上のための研修会および見学会を実施する。
7. 徳川美術館運営懇話会（第 30 回）  
9 月頃に開催予定。
8. 徳川園各施設との連携
- (1) 月度連絡会議
  - (2) 徳川園調整会議（1 月下旬）
  - (3) ホームページ等、WEB 上での連携
  - (4) 徳川園各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。
9. 他の美術館・博物館との連携  
大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、（公財）日本博物館協会・（一社）全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携する。
10. 施設・設備の営繕と保守点検
- (1) 設備不具合等の緊急対応、中長期計画に基づく、施設・設備の修繕および更新を適切に実施する。
  - (2) 中長期計画に基づき、敷地内の庭園や茶室等の整備を適切に実施する。
  - (3) 美術館業務や来館者利便性向上に必要なシステム、機器の整備、環境を構築する。
11. 来館者対応強化  
優れた人材の確保・育成により、顧客対応力を向上させ、満足度を一層高めることにより、来館者数の向上を図る。

[ 徳川林政史研究所 ]

1. 補助金
  - (1) 国庫補助金（特定奨励費およびその他の科学研究費）に係る交付申請および管理事務
  - (2) 民間助成金（上廣倫理財団助成金ほか）に係る交付申請および管理事務
2. 活動支援基金
  - (1) 活動支援基金に係る管理事務
  - (2) 寄附金公募・獲得のための各種方策・活動の検討